事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	博物館			■担当係	博物館			
■評価事業名称	調査研究・資料収集等事業							
■評価事業コード	402200 - 014 ■会計区分 一般会計							
	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり						
■総合計画での	■基本施策	02 社会教育の充実						
	■施策	03 社会教育機能の充実						
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策					政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの							
■法令等の名称								
■関連計画の名称								
■事 業 の 目的と概要	郷土の自然や を深め、郷土 行する。研究	への関心を	高める。各分野	⁻ る冊子を1 において研	作成することによ f究を行い、その	り、市民の知識・理解 成果を冊子として発		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード		事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01	調査研究冊 子発行事業	市民		北上市立博物館研究報告第19号発行 (500部)
02	專任研究員 等設置事業	市民及び学術 研究者		配置した専任研究員2人、研究員3人。 各種学習活動への講師派遣回数23回 (受講者数774人)。
03 j	資料収集・整 理・保管事業	博物館		資料受入 33点

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	5,634	3,850	4,443	3,904	
人 件 費	2,717	3,773	3,908	6,661	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	8,351	7,623	8,351	10,565	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

指 コ-	襟 指標名 ド	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
	シリーズ、博物館研究報告等 の発行回数	1回	1回	1回	1回	シリーズ、博物館研究報告書の発行回数(交互に隔年
			で刊行)			
03	シリーズ、博物館研究報告等 の発行部数	700部	500部	500部	500部	シリーズ、博物館研究報告 等の発行部数
04	頒布1冊当りコスト	3,091円	4,181円	5,251円	8.770円	
		, . .	,	,	,	

Jk									
01 シリーズ、博物館研究報会の発行回数	告等 1回		1回	10	10	1	シリーズ、博物館研究報告 書の発行回数(交互に隔年 で刊行)		
03 シリーズ、博物館研究報行の発行部数	告等 700部	3	500部	500部	500)部	シリーズ、博物館研究報告 等の発行部数		
04 頒布1冊当りコスト	3,091	円	4,181円	5,251円	8,7	70円			
5. 事後評価(「政策」事業	€類型5•6	のみ)							
■目標達成状況		況の分析				点・課題等			
	││事業計 ││	画通り発	行している。		特に	なし。			
○ A. 順調○ B. 概点									
● B. 概ね順調									
○ C. 遅れている									
-1. 直接的な受益者の範囲 ⁻		事業廃				国・県・民間と	の競合関係の有無 ─		
○ 不特定多数に及ぶ							○類似の事業はない		
・ 特定されるが多数に及ぶ		○ 大きな不利益やリスクが生じる				● 類似の事業はあるが競合はない			
● 特定とれるが・少数に及え○ 特定少数に限定される		● ある程度の不利益やリスクが生じる				類似の事業があり競合する			
 -4. 事業へのニーズの変化			5 施策の改善		 部調査)-				
					以则且/				
○ ニーズが高まっている			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			◎順位が高い			
● ニーズは変わらない		.	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			○順位が中程度			
○ ニーズが低下している又は合致しない			│ │				Zが低い		
-7. 他市町村に比較しての優	位性 ——		実施主体の代	.替性 ————		┌9. 経済性	・効率性の向上 ――――		
○ 先進的またはユニークな事業である			● 民間委託等の拡充は難しい			○ 今以上の効率化や改善は難しい			
◉ 他と同程度の事業である			○ 民間委託等の拡充が十分に可能			● 効率化や改善を図ることは十分に可			
○ 遅れている事業である			○ 全部委託や実施主体の移行が可能			○ 効率化	こや改善の余地が大きい		
				補足説明					
○ I. 拡充 (○ Ⅳ. 民間	活用•協	働事業化						
● Ⅱ.継続 (○ ○ V. 廃止	•休止							
○ Ⅲ 縮小・要改善 /	〜 Ⅵ 宗マ								